

テーマ:学生参画を通じた教育の質保証とその課題

1. 目的と概要

従来、我が国の大学教育は、教職員が主体となって実施し、学生はその受け手という一方通行の関係で成り立ってきました。しかし 2018 年の中央教育審議会答申「2040 年高等教育のグランドデザイン」で「学修者本位」が謳われるなど、我が国においても学習主体としての学生の存在にこれまでよりも目が向けられてきています。そしてそれは、大学教育の適切性を確保するという質保証にとっても必然的に再考を迫るものとなっています。

こうした状況にあって大学評価研究所は、「質保証における学生参画のあり方に関する調査研究」に着手し、内部質保証及び評価機関による評価等の外部質保証での学生参画の現状や今後の方策を探ることにいたしました。2023 年より実施中である我が国の大学の内部質保証に関わる学生参画の調査からは、現時点での状況と課題とが様々に見えてきました。そこで、現時点での調査研究成果をベースに質保証における学生参画の実態、課題についての研究会を公開で開催し、様々な方からの質問、意見も交えながら今後を考えてきたいと思えます。

2. 開催日時・形態・プログラム

※敬称略

日 時	2024 年 2 月 26 日 (月) 14:00-16:15
開催形態	オンライン開催 (Zoom)
プログラム	
14:00-14:05	開会・趣旨説明
14:05-14:20	導入説明：堀井祐介 (質保証における学生参画のあり方に関する調査研究部会長・大阪大学教授)
14:20-15:15	各調査研究員によるインタビュー調査を受けた研究発表 14:20~14:30 鳥居朋子 (立命館大学教授) (1校担当) 14:30~14:50 田中正弘 (筑波大学准教授) (2校 //) 14:50~15:15 川上忠重 (法政大学教授) (2校 // 及び総括)
15:15-15:25	休憩
15:25-16:15	総括討論 討論者：堀井祐介、川上忠重、田中正弘、 鳥居朋子、山田勉 (名古屋市立大学教授) (※以上、質保証における学生参画のあり方に関する調査研究部会調査研究員)

(裏面に続く)

3. 対象者・定員

- ・正会員大学、正会員短期大学及び賛助会員大学の教職員（定員 500 名）

4. 参加費

- ・無料

5. その他

- ・研究会の終了後、当日の資料及び動画を、本協会ウェブサイト（会員共通ページ）に掲載する予定です。

以上

（連絡先）

公益財団法人 大学基準協会

評価研究部 企画・調査研究課（担当：荒川、浅井）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-13

TEL：03-6228-1315 / FAX：03-3260-3667

E-mail：kenkyu@juaa.or.jp